

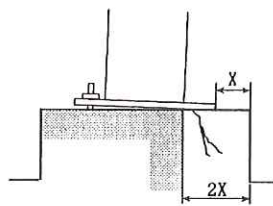
# これで柱脚がわかる!!

H29年度 JSCA東北支部 技術発表会

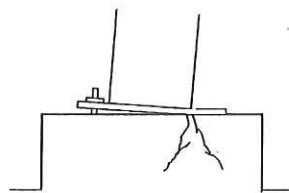
## 『基礎コンクリートの破壊防止等の確認 検証方法』

従来、鉄骨柱の露出柱脚の柱型は、ベースプレートよりひと回り大きくしていただけた柱型としていましたが、2015年建築物の構造関係技術基準解説書により「基礎コンクリートの破壊防止等の確認」が必要になり、(a)縁辺の剥落・(b)立ち上げ部の割裂・(c)端部のせん断力による剥落の検討を行うようになりました。

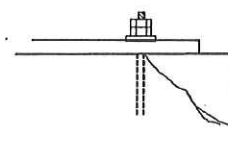
上記3つのうち、柱型の大きさがアンカーボルトからのへりあきによって決まるようになり、従来よりも大きな断面が必要になる傾向にあります。そこでこれらについての理解を深め、さらに既製品柱脚を取り扱う企業にその対応について説明していただく場を技術発表会として設けました。



(a)縁辺の剥落



(b)立ち上げ部の割裂



(c)端部のせん断力による剥落

柱脚基礎コンクリート立ち上げ部の破壊形式

## 技術発表予定企業

在来柱脚での柱型の検討 : ユニオンシステム株式会社  
( SuperBuild/SS3 での入力についても、説明予定 )

既製品柱脚での柱型の対応 : センクシア株式会社

岡部株式会社

アイエスケー株式会社

昭光通商株式会社

日本鑄造株式会社

SuperBuild/SS3

ハイベースNEO

ベースバック

ISベース

ジャストベース

NCベース

これで余も  
柱脚マスターじゃ



こうそう君

柱脚メーカー全社協力